2026年4月1日現在

【健康経営戦略マップ】

健康投資

健康投資の目的および具体的な施策

◆健康の維持・増進
各種健康診断の充実
定期健康診断・人間ドッグ受診費用の補助
巡回レディース健康診断
診療所業務の充実
診療業務・健康指導
健康相談窓口と禁煙相談窓口の設置

◆働きやすい職場環境の整備
メンタルヘルス予防
ストレスチェックの実施
受動喫煙対策
敷地内禁煙の実施
喫煙者への禁煙サポート

◆適正な労働時間の管理
就業管理システムの導入
労働時間の実態把握
休暇制度の拡充
制度休暇の増加等

◆ヘルスリテラシーの向上・生活習慣の改善
人事システムの導入
健康に関するアンケート・
ESアンケート等の実施
研修施設等の整備
研修センターの活用
アプリ・e-ラーニング等の導入

健康経営の普及活動

◆健康経営に資する金融サービス等の提供
金融サービスの提供
融資利率の優遇
健康経営の伴走型支援
セミナー等開催
各種セミナーの開催
セミナー・イベントへの協賛

健康投資の効果

こころとからだの健康

金融サービス提供・取引先支援

健康投資施策の取組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標
特定検診の実施率 特定保健指導の実施率 保険指導の実施率 啓発活動の実施率	疾病の予防・早期発見 健康管理意識の向上 有所見者の割合低下 人間ドック(レディース巡回健診含む)受診率 精密検査受診率
人間ドッグ健診施設の充実 脳ドックの充実	
禁煙に係る施策の実施	喫煙率・喫煙回数の減少 喫煙者のうち、禁煙を目指す従業員の割合向上
運動習慣の改善に係る施策の実施回数・参加率	運動習慣のある従業員の割合向上
SAS(睡眠時無呼吸症候群)対策の実施	睡眠時間の増加 睡眠の質向上
残業時間数 長時間労働者数	有給休暇取得率の向上
制度休暇の日数	階層毎(女性・高齢者)の健康意識の高まり
外部事業者の活用増加	ヘルスリテラシーの高い従業員の割合向上
ES･健康に関するアンケート等の各種指標 <見える化> ワークエンゲージメントの把握 健康に関する実態調査	メンタルヘルス不調者のケア未然防止 メンタル不調者の減少 高リスク群職場数の減少
メンタルヘルスに関する管理者層への指導 高リスク職場の改善指導	
金融サービスの利用件数 セミナー・イベントへの参加企業数	従業員の健康経営に対する関心度

健康関連の最終的な目標指標

健康スコアリングレポート
各項目で相対値100%以上

生活習慣に係る指標
(運動・睡眠・食事等の適正な生活習慣を有する者の割合向上。肥満・血圧・高脂質等の生活習慣病リスク保有者の割合低減)

メンタルヘルスに係る指標
(メンタルヘルス不調者の減少・高リスク職場の減少)

→ アプセンティーイズム(病欠)の低減
→ プレゼンティーイズム(疾病就業)の低減

従業員エンゲージメント調査

総合的な満足度指標
(働いていることに満足し、今後も働き続けたい)

→ ワークエンゲージメントの向上
→ 働きやすい職場環境の整備

地元企業のSDGsへの取り組みを促進・支援
あいぎんSDGs評価サービスによる策定支援先数
あいぎん「健康経営」サポートによる支援数
各種セミナーへの参加企業・自治体数

目標年：2030年

ＫＧＩ

アプセンティーイズム
(病欠)
2024年比減少(1人あたり)

プレゼンティーイズム
(疾病就業)
2024年比減少(1人あたり)

従業員エンゲージメント
調査満足度80P以上

健康経営の目標

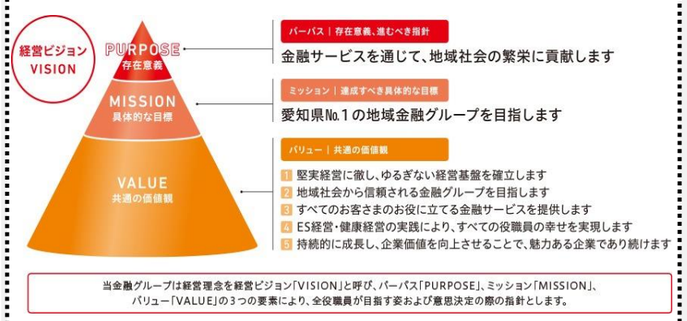
従業員の健康意識の向上
従業員の心身の健康増進
ワークエンゲージメントの向上
働きやすい職場環境の整備

健康経営の推進方針
(あいぎん健康宣言)

あいち銀行は、経営理念（経営ビジョン）のバリューにおいて「ES経営・健康経営の実践により、すべての役職員の幸せを実現します」を掲げており、従業員とその家族の心身の健康こそが重要であるとの考えから、従業員一人ひとりの健康意識の向上、心身の健康増進、働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。

社会的価値
（あいちフィナンシャルグループ経営理念）

経営理念



従業員の健康課題

適正な生活習慣者の割合向上
メンタルヘルス不調の防止
従業員エンゲージメントの向上

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援(POS)、WSC等
・経営トップの発信 ・パーパスの理解度	・各種健診の充実 ・診療所業務の充実	・上司の支援（ＥＳアンケート） ・上司、先輩、同僚の支援

企業価値
（第２次中期経営計画のテーマ・基本戦略）

第２次中期経営計画

テーマ「銀行業を超えたトータルサポートグループ」

基本戦略Ⅰ「コンサルティング・ソリューション型ビジネスモデルの深化」
基本戦略Ⅱ「グループ経営基盤の強化」
基本戦略Ⅲ「DX戦略の加速化」